



J.M.J.A. News

日本マスターズ柔道

2006年12月1日 第4号

日本マスターズ柔道協会

〒157-0063

東京都世田谷区粕谷3-30-1

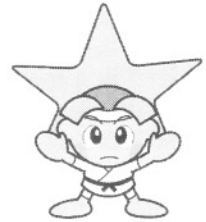
電話03(3326)3333

FAX 03(3305)7301

http://jamja.hp.infoseek.co.jp/

発行 会長 野口宏水

第3回岡山大会 またまた盛り上がりました



第2日目『体重別試合』表彰式の模様

(写真提供：宮本斗成理事)

第三回大会を振り返って

会長 野口宏水

お陰を以ちまして

去る10月13日より

15日までの3日間

岡山武道館に於いて

開催いたしました第

三回日本マスターズ

大会は 岡山県柔道連盟の内

野会長始め 能登原理事長

三宅事務局 大会役員の皆様

方の文字通り昼夜を分かたぬ

お骨折りと 審査 審判の諸

先生の明快なご裁定とに依り

第一回の静岡大会 第二回

の埼玉大会に次いで恙無く大

成功裡に終了いたしましたこ

と真に有難く 厚く御礼を申

し上げます。

併せて 本大会には 年令

30才から81才まで 北は北海

道から 南は九州遠くはニュー

ジランドまで延べ400名

を優に超える多数の熟年マス

ターズ柔道愛好家に馳せ参じ

て戴き 形と試合に 年令を

感じさせない 若々しい円熟

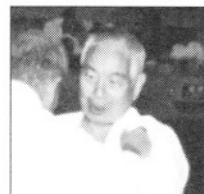
の技と熱戦を展開して戴いた

ことは「生涯柔道を通しての

健康・長寿の交歓」のスロー

ガンに 益々の自信と希望と

を持つことの出来る大会とな
りました。重ねて厚く御礼申
し上げます。



先ず 出場者を年代

別に見ますと 30代 90

名 40代 90名 50代 80

名 60代 74名 70代 41

名 80代 3名 合計 378

名(形出場者を除く試合出場

者のみにて 団体出場者は

各年代18名ずつを加える。)

となっておりです。

次に 地域別に見ますと 北

海道 4名 東北 17名 東京 74

名 関東 69名 北信越 8名

東海 49名 近畿 68名 中国 102

名 四国 17名 九州 12名 外

国(ニュージランド) 2名

となっておりです。

更に これを細かく都道府

県別に見ますと 大会開催地

の岡山が98名と堂々多数のマ

スターズを 次いで東京 74名

兵庫 36名 神奈川 33名 大

阪 22名 愛知 21名 静岡 15名

埼玉 13名 千葉 12名 岩手

10名の10都道府県が二桁台を

栃木・岐阜 7名 石川・滋賀・

香川・高知 6名 北海道・宮崎

4名 秋田・宮城・和歌山・山口

・徳島・福岡 3名 茨城・山梨・

愛媛・長崎・大分・NZが2名

青森・長野・福井・奈良・鳥取・広島・熊本が1名。以上参加36都道府県に対し 山形・福島・群馬・新潟・富山・三重・京都・島根・佐賀・鹿児島・沖縄の11府県の参加0は 個人で参加するマスターズ大会とは言え、寂しいもので この参加0府県を出来るだけ0に近づけることが 今後の課題です。

参加10以上の上位都道府県について見ますと 岡山の98名は 大会開催県としての動員力は面目躍如たるところであり 深甚の敬意と謝意を捧げます。東京は講道館総本山所在地であり 過去2回の大会と比して遠隔地とはいえ安定しております。兵庫は来年度大会をお願いしている開催予定地にして 真に心強い。大阪 愛知は柔道も民力も強い所で当然か？ 静岡 埼玉は第一回 第二回大会の開催県で これもそのままマスターズ大会が定着していると安心。千葉も安定。 茲で10名の岩手県は 遠隔地にも拘らず 高橋 鬼柳 守屋など世界マスターズでの上位入賞により 地元TV 新聞などのマスコミに取り上げられた成果といえるのではないか？

ともあれ 大会は由緒古式ゆかしい岡山武道館で 3日間毎日開会式を行い その都度熱意溢れた代表者により選手宣誓を行いました。

宣誓 (大会初日)



岡山に集いし我々選手一同は マスターズ精神に則り経験と友情を基に 一生懸命力を出し切り 今後日本柔道の発展のため 身を粉にして励むことを誓います。

平成18年10月13日

選手代表

石川県 長崎桂子

(筆者註 女子六段JMJ A理事。第一回静岡大会 固の形(窪田幸緒)銅 試合F7

48 kg金。第二回埼玉大会 五の形(黒田美千子)銀 試合F7 57 kg 金。第八回世界フランス 固の形(今立篤子)金 極の形(大宮民子)金 試合F7 57 kg 金。)

宣誓 (大会中日)



我々試合者一同は本大会の開催にご尽力賜りました関係各位に深く感謝し ご期待に添えるよう 日頃の柔道修行と健康増進の成果を存分に試し合い 大会を通して相互の友好を深め 共に精力の善用につとめ 生涯 自他共栄の道を歩むことを誓います。

平成18年10月14日

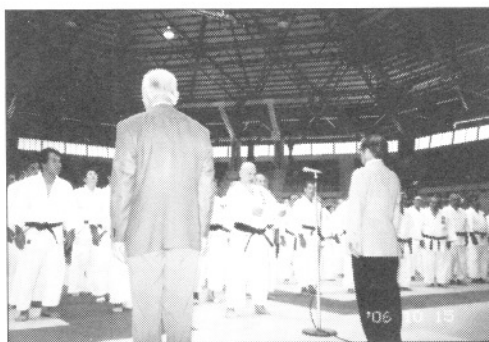
試合者代表

岩手県 高橋勘十

(筆者註 八段 JMJ A理事。第一回静岡大会・第二回

埼玉大会M973 kg 金。第五回東京・第六回ウイーン・第七回トロント・第八回トルールすべて 金)

宣誓 (大会最終日)



この度 岡山県において第三回日本マスターズ柔道大会が行われ 我々会員一同親睦と友好を深め 日本マスターズ柔道協会の精神と規定に従い 正々堂々と競技を行うことを誓います。

平成18年10月15日

選手代表

大阪府 栗本忠弘

(筆者註 八段JMJ A理事。第二回埼玉大会M890 kg 金。第八回トルール大会 金)

中日夜は ロイヤルホテルにて懇親会。太田尚充M11最年長マスターズの朗々たるご発声で乾杯！ 100人近くの出席者があり 終始賑やかで楽しい交歓の夕べとなった。

特に内野会長の肝いりで会場的大型スクリーンで 「関西でキラッと光っている人」を紹介するNHK大阪『ぐるっ』と関西おひるまえ』11:05~11:54: 関西ガンバリズム*栗本忠弘さんく日本マスターズ柔道家*を放映 栗本さんのマスターズ・トルール大会での金メダルの一本勝ち2景数々の人生の坂道を柔道で乗り越え 今も若い柔道青少年(本年過去最年少にて全日本選手権者となった石井慧君をも少年時代栗本道場で指導)の健全育成に邁進されている様子を 時には厳しく 時にはユーモラスなビデオに満座の注目(抱腹絶倒?)を集めて楽しかった。

栗本さんに次いで 第五回世界講道館大会の折 山下泰弘元オリンピック金メダリストより金メダルを掛けてもらい 嬉しそうに田辺陽子メダリストと写真に収まっている

ところの嘗てタモリの“笑っていいとも”のビデオも放映。今は亡き真砂相談役を偲んだ。名残は惜しく、宴酣なれど明日の個人戦と団体戦があるので、8時過ぎお開きとなりました。

最終日団体戦の興奮冷め遣らぬ中、表彰式を終わって来年第4回兵庫大会での再開盛会を期しての清水正敬副会長の閉会の辞で3日間に亘る岡山大会の幕を閉じた。

岡山県柔道連盟の皆様並びに大会参加のマスターズの皆様有難うございました。！！

PS: マスターズ協会縁の方が、俄に幽明境を異にされました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

日本マスターズ柔道 岡山で開幕

内務の役を担う第3回日本マスターズ柔道大会（山陽新聞社後援）が13日、岡山市の岡山武道館で開幕し、会場から集まった30代から80代の愛好家が目を奪った情熱を披露した。

大会は厳格なルールに基づき、選手たちはそれぞれに力を出し、観客の注目を集めた。会場からは、選手たちの熱い戦いを見守る観客の姿が数多く見られた。

緊張感の中 円熟の攻防



形の講義を披露する岡山の選手たち。左から、美濃達也（岡山）と高橋一之（岡山）。

地域スポーツ

10月14日付 山陽新聞が紹介（写真は護身術の高橋・美濃組）

一、田口吉三郎理事。氏は第五回世界マスターズ講道館大会では75才で金メダル。また第一回日本マスターズでは金メダル。そして昨年大会直前胆嚢ガンに冒され、本年3月「これでよし、夢幻の愛別離、八十路を前に圓悟正徹」の辞世の句を残して、元氣一杯の様子で旅立たれました。

二、橋本龍太郎元内閣総理大臣。丁度世界トウール大会の帰途パリ滞在中の7月1日ご逝去の由を知る。当マスターズ協会が発足した02年5月心臓手術後40日目入院中の病院を抜け出し、激励の祝辞を戴き、その後も04年第六回世界ウィーン大会では従兄弟の当時オーストリア大使橋本宏閣下を派遣して戴

き、小生世界マスターズ協会会長でしたので、柔道宗主国の日本国大使のご来駕、ご祝辞は、大いなる感動でありました。岡山大会には、元総理の出身地故、出席したいと楽しみにしておられました。

三、真砂都留夫相談役。後記弔辞ご参照。

合掌。

第二回大会のメダリストと団体戦出場者は次の通りです

形の部

投の形

- ①甲斐浩二（宮崎）・伊福義雄（宮崎）
- ②鈴木治雄（千葉）・石邑勇（千葉）
- ③田倉幸男（東京）・清家春夫（東京）

固の形

- ①森下良男（静岡）・山下朝司（静岡）
- ②黒田美千子（岐阜）・大宮民子（愛知）
- ③小川栄一郎（千葉）・永島健次郎（千葉）

極の形

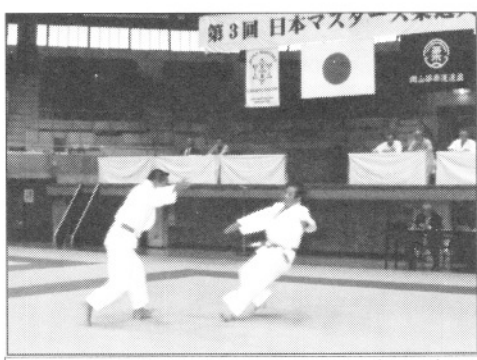
- ①有田早苗（栃木）・植木良夫（栃木）
- ②大宮民子（愛知）・加古若子（愛知）
- ③石邑勇（千葉）・鈴木治雄（千葉）

柔の形

- ①横山悦子（福井）・大森千草（長野）
- ②上野和香子（北海道）・岡本敦子（北海道）

- ③今立篤子（秋田）・長崎桂子（石川）
- 護身術
- ①高橋一之（岡山）・美濃達也（岡山）

- M1 81 kg 下 ①菅野隆行（岩手） ②間章（高知） ③埴淵茂樹（静岡）・山本正日（岡山）
- M1 90 kg 下 ①上園勇作（東京） ②岡本幸治（岡山） ③加藤久雄（岡山）



五の形で金の内野・日下組（岡山）

- ①内野幸重（岡山）・日下孝司（岡山）
- ②大矢秀昭（東京）・佐藤良吉（東京）
- ③藤本昌映（兵庫）・中江祐二（兵庫）

古式の形

- ①清水正敬（東京）・佐藤良吉（東京）
- ②黒田美千子（岐阜）・今立篤子（岐阜）
- ③横山悦子（福井）・大森千草（長野）

年齢別体重別個人戦

男子の部

- M1 (30〜34才) 60 kg 下 ①佐藤政美（宮城） ②市川誠（東京）
- M1 73 kg 下 ①松平聖輝（神奈川） ②漆畑健（東京） ③佐藤真生（宮城）

- M2 66 kg 下 ①松本淳（滋賀） ②大山吉男（愛知） ③片山敬介（岡山）
- M2 73 kg 下 ①横山清嗣（岡山） ②今嶋禄郎（大阪）
- M2 81 kg 下 ①長谷川靖二郎（大阪） ②杉本幸裕（愛知） ③棟方尚登（神奈川）
- ②上原貴志（愛知） ③北島好修（愛知）

- M2 90 kg 下 ①壇上竜二（愛知） ②古川克二（滋賀） ③北島尚（東京）
- 飯田俊（東京）
- M2 100 kg 下 ①中川久幸（愛知） ②山本典実（愛知） ③藤本豪（岡山）
- 須正己（兵庫）
- M2 100 kg 超 ①松山尚浩（福岡） ②西江新司（岡山）
- M3 (40〜44才) 60 kg 下 ①高山郁生（静岡） ②小玉勉（兵庫） ③渡邊清人（静岡）
- M3 66 kg 下 ①喜多康之（兵庫） ②片岡孝志（徳島） ③西村直（岡山）
- 藤孝滋（神奈川）

- M 3 73 kg下 ①難波信雄(岡山) ②北條博嗣(高知) ③山下義寛(石川)・及川賢一(岩手)
- M 3 81 kg下 ①井上喜雅(香川) ②松本英治(岡山) ③塚本久道(兵庫)・十川英明(徳島)
- M 3 90 kg下 ①赤尾信行(山口) ②森本正則(滋賀) ③杉本貴史(兵庫)・大友悟(福岡)
- M 3 100 kg下 ①及川仁一(岡山) ②岸部俊一(山梨)
- M 4 (45~49才) 60 kg下 ①浜下正文(埼玉) ②梶泰章(神奈川) ③夏目博元(愛知)・森下良男(静岡)
- M 4 73 kg下 ①佐々木政彦(埼玉)・上田一美(愛知) ③重森敏行(高知)
- M 4 81 kg ①田所英幸(栃木) ②金指邦浩(静岡) ③大島禎(大阪)・橋本正之(鳥取)
- M 4 90 kg下 ①美濃達也(岡山) ②宮岡等(愛媛) ③中嶋和二郎(東京)
- M 4 100 kg下 ①高橋洋一(埼玉) ②中山章司(香川) ③長須賀明彦(神奈川)
- M 4 100 kg超 ①窪田智之(愛知) ②梶房晃(岡山)
- M 5 (50~54才) 60 kg下 ①大橋治義(岡山) ②福岡幹雄(神奈川) ③北尾浩(兵庫)
- M 5 66 kg下 ①養父洋介(兵庫) ②原優(東京) ③倉野祐一(岐阜)・

- 小笠原進(大阪)
- M 5 73 kg下 ①坂東篤司(徳島) ②平野相徳(和歌山) ③伊福義雄(宮崎)・平井敏雄(兵庫)
- M 5 81 kg下 ①真船寛(東京) ②阿古裕弘(大阪) ③赤司正友(東京)
- M 5 90 kg下 ①ト部秀幸(愛知) ②森本誠一(岡山) ③大塚俊彦(埼玉)
- M 5 100 kg下 ①難賀昌盛(兵庫) ②富岡周三(岡山) ③小笠原淳(静岡)
- M 6 (55~59才) 60 kg下 ①坂井路雄(兵庫) ②柿田豊一(石川) ③久保宗一(香川)・山口幸雄(栃木)
- M 6 73 kg下 ①砂川利和(山口) ②三上貴士(東京) ③花島次男(埼玉)
- M 6 81 kg下 ①吉成隆杜(東京) ②菊池正敏(東京) ③高橋和裕(神奈川)・小林道文(岡山)
- M 6 90 kg下 ①山本昭(兵庫) ②上木保男(千葉) ③小池健三(埼玉)
- M 6 100 kg超 ①今井國男(岡山) ②山本公仁(岡山)
- M 7 (60~64才) 60 kg下 ①大矢八平(兵庫) ②三浦孝司(奈良) ③加藤忠勝(東京)・田倉幸夫(東京)
- M 7 66 kg下 ①飯田喜七(岡山) ②増田洋(大阪) ③牧田幹男(岐阜)・宿利憲生(東京)
- M 7 73 kg下 ①来田武(香川) ②福島勝忠(長崎) ③五十嵐徳英(東京)

- M 7 81 kg下 ①三橋英夫(神奈川) ②清家春夫(東京) ③鈴木治雄(千葉)・上田幸弘(熊本)
- M 7 90 kg下 ①江崎寛(東京) ②大上敏幸(東京)
- M 8 (65~69才) 60 kg下 ①石黒金次(静岡) ②相田盛良(長崎) ③永島健次郎(千葉)・鬼柳一字(岩手)
- M 8 66 kg下 ①仁木征輝(岡山) ②石本知也(岡山) ③中島忠(埼玉)
- M 8 73 kg ①内藤純(栃木) ②宮本斗成(大阪) ③伊藤久雄(千葉)・佐藤良吉(東京)
- M 8 81 kg下 ①川上勝(岡山) ②國定義信(岡山) ③岩崎健二・小嶋博美(愛知)
- M 8 90 kg下 ①リック・リトルウッド(NZ) ②栗本忠弘(大阪)
- M 9 (70~74才) 60 kg下 ①杉原尚(東京) ②岡田庫二郎(兵庫) ③小川栄一郎(千葉)
- M 9 66 kg下 ①山本健夫(東京)
- M 9 73 kg下 ①野口宏水(東京) ②安河内浩(東京)
- M 9 81 kg下 ①宮本隆(神奈川) ②佐藤勝志(東京) ③尾辻邦治(東京)
- M 9 90 kg下 ①奈良澄(愛知) ②森本唯行(神奈川)
- M 10 (75~79才) 66 kg下 ①大矢秀昭(東京)
- M 10 73 kg下 ①高橋勘十(岩手)
- M 10 90 kg下 ①原田照夫(埼玉) ②

- バット・トナー(NZ)
- M 11 (80才以上) 73 kg下 ①上島彬(大分)
- M 11 90 kg下 ①太田尚充(青森)
- 女子の部
- F 1 48 kg下 ①鈴木恵美子(神奈川)
- F 1 52 kg下 ①三谷玲子(神奈川)
- F 1 57 kg下 ①本田綾香(神奈川)
- F 1 63 kg下 ①吉野貴代子(神奈川)
- F 1 70 kg下 ①小瀬純子(岐阜)
- F 1 78 kg超 ①寺田裕美(神奈川)
- F 2 63 kg下 ①難波浩子(岡山)
- F 2 78 kg超 ①佐藤和美(岩手)
- F 3 48 kg下 ①山内久美(神奈川)
- F 4 57 kg下 ①岡本敦子(北海道)
- F 5 78 kg超 ①上野和香子(北海道)
- F 6 63 kg下 ①今立篤子(秋田)
- F 6 78 kg下 ①黒田美千子(岐阜)
- F 7 57 kg下 ①長崎桂子(石川)
- 年齢別体重無差別個人戦
- M 1 ①間章(高知) ②上國勇作(東京) ③三谷健(神奈川)・加藤久雄(岡山)
- M 2 ①桧山尚浩(福岡) ②飯田俊(東京)
- M 3 ①赤尾信行(山口) ②森本正則(滋賀) ③大友悟(福岡)・北條博嗣(高知)
- M 4 ①美濃達也(岡山) ②中嶋和

- 三郎(東京) ③高橋洋一(埼玉)・長須賀明彦(神奈川)
- M 5 ①ト部秀幸(愛知) ②大塚俊彦(埼玉) ③阿古裕弘(大阪)・富岡周三(岡山)
- M 6 ①吉成隆杜(東京) ②今井國男(東京) ③池田文宏(岡山)・上木保男(千葉)
- M 7 ①池田正男(兵庫) ②小西正弘(千葉)
- M 8 ①リック・リトルウッド(NZ) ②小嶋博美(愛知) ③宮本斗成(大阪)・伊藤久雄(千葉)
- M 9 ①宮本隆(神奈川) ②安河内浩(東京) ③奈良澄(愛知)・岡田庫二郎(兵庫)
- M 10 ①高橋勘十(岩手) ②原田照夫(埼玉)
- M 11 ①太田尚充(青森) ②上島彬(大分)



M11 (80才以上) 体重無差別決勝戦(左上島、右太田)



団体戦男子優勝 大阪府柔道整復師クラブ(大阪)



団体戦女子優勝 相洋柔友社(神奈川)

団体戦

男子

- ①大阪府柔道整復師クラブ(大阪)
(永田、久保、山口/阿古、清水、伊福、田中、茶屋、栗本、中井、中上)
②柔錬会(兵庫)(松村、西村、横山、川口、雑賀、山本、大矢、新田、岡田、栗村)
③岡山県柔道連盟備前支部(岡山)(坪田、横山、美濃、梶房、森本、富岡、小坂、一、一、一)

- F1 ①本田綾香(神奈川)
F2 ①難波浩子(岡山)

女子

- ①相洋柔友会(神奈川)(本田、吉野、寺田)
②しほの会(岐阜)(小瀬、黒田、今立)
③湘南レディース(神奈川)(三谷、難波、山内)

- ③丸の内柔道倶楽部(東京)(上園、飯田、中島、前田、上木、三木、三橋、清家、尾辻、森本)
他参加チーム
美作柔道連盟(加藤、内山、難波、松本、山本、今井、國定、仁木、八木、一)
岡柔会(山本、佐古、中山、宮岡、坂東、池田、葛尾、武田、一、一)
慶友クラブ(市川、三谷、渡辺、山口、若宮、森本、伊藤、清水、野口、高橋)



最年長太田尚充マスターズのご発声で乾杯



全景：スクリーンはNHK「関西ガンバリズム：栗本忠弘さん」のビデオ

パーティでのスナップ

10月14日夕、岡山ロイヤルホテル



パーティにも多数参加された岡山県の皆さん



即興でハンカチを大会旗に見立てて内野大会会長(右)が 藤田兵庫県柔連会長(左端)に

会員便り

世界マスターズで初の銀
そして第三回日本大会

石邑 勇
(理事 千葉県)

平成十八年六月二十七日世界マスターズフランス(トゥール)大会「形の競技」に出場し、念願の銀メダルを獲得することが出来ました。感激のあまり、大会会場近くのスーパーでワインを買い込み、宿泊中のホテルで家内と二人きりで祝杯を挙げました。

思い起こせば一昨年のカナダ大会の約一カ月前に右肩の鍵盤を断裂し、痛み止めの座薬をお尻に挿入しながら試合に出場したのですが、結果は七位と不本意な成績に終わりました。

カナダから帰国し一週間後の七月八日、あまりの痛さに絶えかね、自宅近くの総合病院でMRIによる検査を受けました。結果は、右肩の鍵盤を断裂しており、しかも、断裂してからかなり月日が経っているため、早く手術をしな

いと切れた腱が肩胛骨等に癒着し、手術に時間を要するということでした。その四日後、全身麻酔で手術を受けました。四時間半も掛かり、麻酔が切れてからの三日間は地獄の苦しみでした。右腕の力が元に戻るのには早くて一年、あるいは一年半は掛かるでしょうと医師から診断をされました。

それから一年、私は医師から指示されたとおりリハビリに専念するとともに自分の体が動く範囲での段階的な「柔道の形」用のトレーニングの計画を立てました。トレーニングの主な内容は、自転車のチューブの一方の端をペランダの支柱に縛り、片方の端を右肩に括って「背負い投げ」のような動作で引き出す訓練で、一日約三百回以上行なうことによって肩の筋力を付けることを第一目標にしました。

春になり私の右肩の筋力は徐々に回復をし、今年（平成十八年）四月の下旬、ちょうどフランス（トゥール）大会の案内が届いた頃には、「極の形」の立ち会いの時に掛ける投げ技の「大外刈り」や「一本背負い投げ」の動作が出来るようになっていました。

「試合は無理としても形なら何とか行ける」と考え、競技出場の申込書を書きました。

今から三年前、世界マスターズ柔道東京大会のときに一緒に「形」の練習をしていた地元の木更津柔道会の鈴木治雄先生と組んで「極の形」の競技に出場しました。結果は第四位の成績でした。翌年（二年前）のオーストリア大会でも四位、昨年のカナダ大会では七位でした。

鈴木治雄先生とは一緒に「形」の練習を始めたのが縁でしょうか、地元の柔道大会の懇親会等で良く飲んで語り合いますが、その際に出る言葉は「今年のマスターズ、フランスはメダルを狙おう」を、合い言葉にしています。

しかし、大会二ヶ月前、諸般の事情により、鈴木治雄先生がフランス大会に行けなくなっていました。

六月上旬、清家先生と「極の形」を行うことが決まってから日本列島は梅雨に入りました。私は、清家先生との形の練習を行うために、蝙蝠傘を片手に電車に揺られながら東京都内の中央区スポーツセ

ンターや講道館に通い、大会に備えました。

その甲斐あってか、フランス大会の形競技の表彰式において二番目に高い表彰台に乗ることが出来ました。



フランス大会 極の形で銀 石邑(左)・清家組

今回の岡山大会では「投の形」と「極の形」と「柔の形」の3種類の形に出場しました。

「投の形」と「極の形」の稽古は、鈴木治雄先生と二人で木更津市の道場や市内の高校及び私の勤務する航空自衛隊木更津基地の柔道場等で週3〜4回行いました。

大会当日10月13日の「投の形」の演武は、マスターズ大会で初の挑戦だっただけに少し緊張しましたが、技の一つ

一つの動作に確実と速さを強調したのが良かったのか宮崎県のベテランチームの伊福・甲斐組に次いで第2位に入賞する事が出来ました。

「極の形」は、得意種目であるので自信を持って臨みましたが、少し気負いがあったのか？結果は第3位に終わりました。

「柔の形」は「投の形」と同様に今大会初の挑戦でした。

「柔の形」の演武は大会で一度やってみたくて居なかったが、稽古相手が居なくて困っていた頃に、航空自衛隊の大先輩で愛知県瀬戸市にお住まいの大宮民子先生からフランス大会のビデオテープが送られてきました。私はお礼の電話をするともに、図々の形の取り役をやりたいので、受の役をやって頂けないでしょうか」と申し出をしたところ、ひとつ返事で引き受けてくれました。それから間もなく、大宮先生は、9月初旬の第2金曜日、講道館で行われているマスターズの定期練習会に顔を出して、私に「柔の形」の指導をしてくれました。そして翌日の土曜日は千葉県の

木更津市まで足を延ばし、航空自衛隊の木更津基地の柔道場で約3時間、厳しい指導をして下さいました。それから2週間ほど経ったある日、大宮先生から手紙を戴きました。その内容は、「私も石邑先生も、ともに六段で二人合わせて十二段です。下手な演技は出来ません。」というようなことが書いてありました。私はその言葉を肝に命じ、10月上旬、「柔の形」の指導を受けるべく、愛知県の瀬戸市の御教授を戴き大会に臨みました。結果は5位といまいつでしたが、初挑戦にしては納得の出来た内容だったと思っています。何より驚いた事は、観客の方々の大半は大宮先生と私が兄弟だと思っただけです？という事は、それ程真に迫った演武だったという事かと善意に解釈をすることにしましょう。

しかし、大会が終わって約2週間経ちましたが、岡山武道館の畳の痛さは未だに体の芯に残って止みません。兵庫大会は更に飛躍を、自分自身に、捲土重来を期待します。

岡山で私が思ったこと

鈴木 禎

(理事 埼玉県)



東京から『のぞみ』で3時間半。日本マスターズ大会初の西日本での開催となった岡山に到着したのは土曜の夜であり、懇親会が行われている最中でした。

柔道整復師という拘束時間の長い仕事柄、今回は都合で止むを得ず日曜の無差別級(M3)のみの出場でした。毎回のことですがフルタイムの参加ができないのが辛いです。

勤務先院長の理解により現在、私は隔週に一度、早抜けさせてもらい稽古しています。しかし、これで充分だとは思っておりません。稽古中、『以前はこう動けたのに!』と感じることが再三あり歯痒い思いをしています。今回の試合も、納得できる動きが出来た上でなら試合結果が同じでも悔しさは今より少なかったろうにと思います。加えて最近稽古の度に体を傷めています。直前の稽古で左手首を傷め、今回の試合では右肩鎖関

節を傷めました(因みに負傷した部位は『仕事柄』自分で治療しておりますが……)。そんなこんなで、日本大会に

関しては第一回から通算して今回で6連敗と連敗街道をひた走っております(それでも第1回大会は3位入賞)。次の兵庫姫路大会に向けこれらが少しでも改善できれば幸いです。

自身の試合が終了後、会場を後にした私は独り市内の散策に参りました。初めて訪れた岡山市はとても素晴らしいところでした。広い空、落ち着いた街並、背後に臨む小高い山々、旅情をさそう大通りを行き交う路面電車等、暮らしてみたいくなる程の魅力にあふれていました。そうして私は後樂園と岡山城を訪ねまし

た。園内で当地の地ビールである『独歩ビール』と名産の魚の寿司(魚の名前を忘れてしまいました。岡山の皆様申し訳ございません!)に舌鼓を打ちました。とても良い思い出になりました。と同時に今回、時間を遣り繰りしてな

んとくによかったです。そして、次回以降も開催地付近の名跡を訪ねることが日本マスターズ大会参加の楽しみの一つになるでしょう。

カナダ・ウェランドで開催された第1回世界マスターズ大会に出場して早7年。サラリーマン生活に終止符を打ち、柔道整復師(鍼灸師資格も持っています)を志す決意をした時と軌を一にしています。今の私はマスターズの発展と共に歩んでおります。そしてその発展に負けぬよう、私自身も夢の実現に向けてこれからも頑張つて参ります。それでは次回もまた元氣でお会いしましょう!

【感動と驚き!心に誓った『生涯!柔道!』】

鈴木 政明

(茨城県 日立多賀武道館)

私はこの度【第3回日本マスターズ柔道大会】に初めて参加させて頂き、これまで経験した事の無い『驚きと感動』を体験させて頂きました。

最初の驚きと感動は『御高齢の選手の皆様がとても若々

しく・力強く・俊敏である』事です。これには戸惑い、何度か自分の目を疑うばかりでしたが、それは直ぐに感動から尊敬の念へと変わり、いつの間にか羨ましくも感じられました。

次の驚きと感動は『参加選手が多くが会場の所々で再会を喜び合い、本大会での健闘を誓い合う姿がとても多く見受けられた』事です。遠く離れた地に住む

選手同士が本大会を通じて生まれた友情を大切に、礼儀正しく爽やかに語り合う姿を目の当たりにして、再び感動し、自分もこうありたいと感じました。

確かに実際に試合を終えると、自分でも自然と相手選手に敬意を表し、友情を深め、来年の再会を約束する事が出来ました。

私は小学校4年生から柔道を習い始め、中学・高校と柔道部に所属し、最終的には茨



銀メダル(M2・60kg)を胸に!

城県の国体強化選手にも選出されましたが、社会人になり柔道部の無い企業に就職すると、柔道が日常から離れたものとなってしまいました。本大会の様に全国規模で真剣勝負が出来る場所は、私の様な者にとって大変魅力的で貴重なものであり、今後の稽古をする上でも何よりも励みになります。

私は本大会で感じた感動を一人でも多くの方に伝えたいです。

最後に、大会を企画・運営している協会の方々には深く感謝すると同時に、今後とも途絶える事無く本大会を継続して開催して頂けよう。心からお願ひ申し上げます。

私は本大会に参加した皆様の様に礼儀正しく、力強くあり続けられる様、精進し続ける事を心に誓います。『生涯!柔道!』の精神を忘れずに。以上

弔辞

日本マスターズ柔道協会の会員代表とい
たしまして、故真砂都留夫相談役のご霊前
に謹んでお別れの言葉を申し上げます。

真砂先生、先生は我が日本マスターズ柔
道協会の最年長、生涯柔道を通しての草の
根外交を、国の内外大会に最先端に立つて
堂々闊歩されておられました。

特に、2002年5月、第4回世界マス
ターズ北アイルランド大会を前
にしての、日本マスターズ柔道
協会設立発会式にては、参加3
0余名を代表して必勝の決意を
表明され、古式の形と七十五才
以上の部個人戦で共に世界の頂
点に立たれ、見事二つの金メダ
ルを獲得されました。

更に、翌年第五回世界マスター
ズ講道館大会では柔道創立12
1年世界187ヶ国に拡散分
散した日本傳講道館柔道の、いわ
ば時空を超えた本家総本山への
里帰りとはかり、五日間の大会
を通して、海外よりの参加者6
00名を含む903名のマスター

ズ柔道家を前に、当時八十二才最年長真砂
先生の日本柔道は斯くあるべし、の強い信
念の下「嘉納師範のお写真にハイレイ！」
の大喝令に、大道場の選手・役員も、観覧
席の観客も皆一様にシーンと静寂に包まれ
たものでした。その折の表彰式で、オリン
ピックメダリストより金メダルを胸に架け
てもらわれた時の真砂先生の嬉しそうな笑
顔が今でも目に浮かんで参ります。

その後も普段の稽古は勿論のこと、講道



在りし日の真砂都留夫相談役(03年世界講
道館大会表彰式で田辺陽子メダリストと)

館での形夏期講習、春の全国高段者大会に
も、八段になられてからも更に奥義を究め
んと研鑽怠りなく務められ、一昨年の第一
回日本マスターズ静岡大会では、形・試合
共金メダル。昨年の第二回埼玉上尾大会で
は形の部でメダルを逃したので、来月に迫
りました第三回の岡山では、特に嘉納師範
が古式の形を岡山発祥の起倒流から編み出
されたことから、岡山で勝負する！と強く
捲土重来を期しておられました。蓋し、先
生は京城師範学校在学中に嘉納師範が全校
生徒を前に講

演されたとき、
師範の迫力に、
神々しさに、
眩さに、雷電
に撃されたよ
うな衝撃を受
けたと述懐さ
れておられた
からでありま
す。その折、
嘉納師範に随
行されていた
あの「木村の
前に木村なし、
木村の後に木

村なし」といわれた木村政彦との三十人掛
けの三番手に出場した真砂少年は、木村の
強烈な大外刈に頭から落ちてフラフラと立
ち上がり無意識に道場を歩き廻り、「オイ
真砂！大丈夫か、しっかりしろ！」と笑わ
れたと語っておられました。

戦時中は工兵隊小隊長として中支戦線に
参戦、敵と交戦した最前線に在って、多く
の部下を失い、自身も三発お腹に銃弾を受
け三日三晩意識不明で、部下は真砂隊長が

死んだ！と野戦での埋葬の準備をしていた
と、よくお話を聞いたものであります。

この時の戦線での三日間の死亡体験が先
生の死生観、人生観とも云うべき、あの大陸
的な些事に拘泥せぬ悠々たる生き方に繋
がったのではないかと、と我々後進は折に触
れ教えられました。

先般一ヶ月程前、先生の携帯電話に電話
しました処、今丁度息子の嫁に、お父さん
お一人で不自由でしょうから、と大阪に呼
ばれて来ているんだ。一ヶ月程居て大分良
くなったからそろそろ東京の娘の処へ行こ
うと思っているんだ。といわれ、良い息子
さんとお嫁さんとお嬢さんを持しておられ
て羨ましいですと云った許りで、そろそろ
マスターズの第二金曜日の講道館での合同
稽古にいつものお元気なお姿にお目にかか
れるなと思っていた矢先に突然の訃報に接
し、只々驚愕した次第であります。

「野口さん、酒は余り飲むなよ。」と言
われると更に酒が進む先生のお言葉とご尊
顔にもうこれから接することが出来ない
と思うと胸が締めつけられる思いがして淋し
く空しさを覚えます。

生者必滅、諸行無常を心底理解しつつ、
僕は今人生の素晴らしい一時期を先生と共
に生きたんだという誇らしい気持ちに嘯み
しめ乍ら、最後のお別れを告げます。

真砂先生さようなら。いろいろ有難うご
ざいました。心安らかに休みなさい。

平成十八年九月十日

日本マスターズ柔道協会

会長 野口宏水

第九回

世界マスターズ大会

6月18日〜24日

ブラジル・サンパウロ市

ブラジルの柔道人口は50万
人とも60万人とも言われてい
ます。サンパウロ市は南半球
最大の都市で、大会の会場に
なるイビラプエラ・ブラジル
柔道総合センターは、日本の
草の根文化無償協力資金約9
百万円を受けて今年の3月24
日に完成しました。畳274枚、
4面の専用道場で『南米の講
道館』といわれています。

編集後記

お世話になった方々の訃報
に接することは何とも悲しい
ことですが、本岡山大会の盛
会を天上から喜んで下さって
いると思います。

今回も柔道愛好家の真骨頂
溢れるお三方のお便りをいた
だき、感激です。また宮本斗
正理事から多数の写真をご提
供いただき感謝の気持ちで一
杯です(K・N)

(題字は野口会長の揮毫です)